

平成28年度 全国保健師長会 ニュース No. 2

第1回拡大常任理事会報告

平成28年6月 運営会議発行

梅雨入りの便りが聞かれる季節となりました。熊本地震で被災された皆様には、引き続き厳しい状況が続いておられることと思いますが、一日も早く元の生活に戻ることができますようお祈りいたします。

全国保健師長会ニュースNo.2は、第1回拡大常任委員会の報告です。

《平成28年度 全国保健師長会第1回拡大常任理事会》

◇日時：平成28年5月14日（土）13：00～15：00

◇場所：日本公衆衛生協会1階会議室



(1) 平成29年度に向けた国への要望について

継続検討していた「平成29年度地域保健施策および保健活動の推進に関する要望書（案）」について、最終資料が提案されました。重点要望として、「総括的な役割を担う保健師の配置の促進と育成」、「自治体保健師の資質向上への支援」の2点を上げております。また、分野別要望として、母子保健施策および児童福祉施策、精神保健施策、障害児者施策、高齢者施策、難病施策・疾病対策、健康づくり・生活習慣病予防施策、感染症対策、健康危機管理（災害保健）、生活困窮者の健康支援の9項目について要望がまとめられました。6月2日に役員が厚生労働省に出向き、要望書を提出してきました。詳細は近日中にホームページに掲載しますので、ご覧ください。

(2) 第38回全国保健師長会代議員総会について

第38回全国保健師長会代議員総会の日程、会場、講演会・シンポジウム骨子（案）について検討しました。

・日時 平成28年11月26日（土）9：30～16：00

・開催地 奈良県橿原市

・内容

本会では、平成26年度に「地区担当制に関する調査」を実施し、課題を整理するとともに、概念の明確化、共有化を図り、地域に責任を持つ体制について検討しています。これを踏まえ、今年度の代議員総会では、「保健師の地区担当制」「担当地区に責任を持つ活動」等をテーマに、基調講演・シンポジウムを開催する方向で、関係団体と調整し、準備を進めることになりました。



(3) 平成28年度ブロック研修会について

8月下旬から9月にかけて各ブロックにて研修会が開催されます。今年度の活動テーマは、「地域における保健師の保健活動に関する指針を活用した保健師活動の可視化と質の向上に向けた取り組み」であり、内容としては、「活動方針の説明」「研究報告」「専門性の高い公衆衛生看護活動の強化につながる研修」となります。ぜひ、ご参加ください。

(4) 平成28年度調査研究事業について

次のとおり全国保健師長会調査研究事業5件が採択されました。

- ・「災害後の保健活動における現状と課題」中島誠子（福島県相双保健福祉事務所）
- ・「新任期保健師の成長に係る要因」大西聖子（大阪府泉佐野保健所）
- ・「県型保健所の保健師活動のあり方に関する研究～リーダー期保健師が実践する、ビジョンに基づく保健師活動の展開を通じて～」藤原恵美子（兵庫県健康福祉部健康局健康増進課）
- ・「地域組織との協働による健康寿命の延伸への取り組みと評価」河上屋里美（萩市健康増進課）
- ・「住民と取組む校区別地区診断と健康づくりの展開事例に関する研究～地域住民と健康課題を共有する手法とその成果～」木村和美（糸島市健康づくり課）

地域保健総合推進事業「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」浅井澄代（埼玉県保健医療部保健医療政策課）は、継続（2年目）となります。

(5) 部会・特別委員会の活動について

今年度から全国保健師長会40周年に向けて記念事業特別委員会が設置されました。設立40周年となる平成30年度には、記念事業や記念誌の発行が予定されており、今後、委員会にて内容の検討を行っていきます。

その他、各部会、委員会から今年度の活動予定について報告がありました。

(6) その他

この度の熊本地震において被災地支援のための派遣を行っている自治体から、現地の状況や支援活動等について報告がありました。5月中旬を目途に県外からの支援は徐々に縮小となるようですが、災害時における様々な支援のマネジメントは今後の検討課題である等、意見が出されました。

【編集後記】

新体制による平成28年度がスタートして2ヶ月が経過しました。本日の理事会では、各ブロック、部会、委員会から具体的な計画が提案され、活発な意見交換が行われました。これらの活動や情報が会員の皆様にタイムリーに届けられますよう発信していきたいと思っております。

(作成：広報委員会)